

七

口イ
払

国入価込 行争非者特国
 債札格金 入価・別債
 市発競金 札格第参市
 場行争額 発競I加場

九一
百兆
四百
四十九
十九億
四千六
五百九
十万円

四国条特百面行法で利第別六つ定う額
 十債の別七金し第四付一会十いにち面
 一に規会十額た四千国項計九て基、金
 億つ定計万で利十七債のに億はづ財額
 円いにに円千付七百に規関五、き政で
 て基関九国条五つ定す千額發法一
 、づす百債の十いにる四面行第兆
 額きる二に規七て基法百金し四
 面發法十つ定億はづ律二額た條四
 金行律二いに十、き第十で利第
 額し第億て基万額發四万三付一
 でた四四はづ円面行十円千国項
 九利十千、き、金し六、三債の
 百付七五額發同額た條特百に規

六

イ
発

入価行争非者特国
 札格行入価・別債
 発競札格第参市
 行争額発競I加場

込募各当も
 み限國ての
 の度債るか
 応額市。ら
 募の場そ
 額範特そ
 を割内參
 りに加當
 お者を順
 ていごと
 てる。各
 申応割り

十 十 三 二	十 十 口 イ 一	八 振 額 最
の 経 利 行 争 非 者 特 国 入 價 発 払 過 入 價 ・ 別 債 札 格 行 行 込 利 札 格 第 参 市 発 競 價 み 子 率 發 競 I 加 場 行 争 格 日		

(二) (一) 年 額 錢 額 平 す 額 の 振 五

に む 十 式 は 二 面 以 面 成 る の 記 替 万
 係 發 も 号 に 、 募 、 金 上 金 二 。 整 載 法 円
 る 行 の に よ 払 入 二 額 の 額 十 数 又 の
 所 時 と 規 り 込 決 パ 百 そ 百 二 倍 は 規
 得 に す 定 算 金 定 । 円 れ 円 年 の 記 定
 税 お 365 × 100 | 22 す 出 額 の セ に ぞ に 二 月 金 錄 に
 が い 。 る し に 通 ン つ れ つ 二 十 六 額 は よ
 源 て 期 た 加 知 ト き の き 日 に 、 る
 泉 、 日 金 え を 百 応 百 よ 最 振
 徵 そ に 額 、 受 円 募 円 る 低 替
 収 の 払 を 次 け 九 價 八 も 額 口
 さ 利 い 第 の た 十 格 十 の 面 座
 れ 子 込 二 算 者 錢 五 と 金 簿

$\frac{\text{額面金額の総額} \times 22}{365 \times 100}$

十
十
十
八
七
六

十
五

十
四

払元償償
場利還還
所金金期
支額限

後第
の二
利期
子以

初期
利子

日額平るい日毎
本面成利てを年
銀金四子、支六
行額十をそ払月
百一支の期二
円年払日と十
に十う以し日
つ二。前、及
き月六各び
百二月支十
円十間払二
日に期月
属に二
すお十

$$\text{額面金額} \times \frac{22}{100} \times \frac{1}{2}$$

規下は期た期平
定、が金と成控得は出に住時額金にの口る
す次そ銀額し二除税外しは者に（額よに座も
る号の行を、十すの国た、又おたにりつにの
期及翌休支次二る税法金前はいだ百算い記と
日び営業払の年こ率人額記外てし分出て載し
に第業日う算六とをがに（国取、のしは又て
つ十日。式月が乗適当の法得当二た、は振
い六にたに二でじ用該算人す該十金前記替
て号支當だよ十きたを非式でる國を額記録口
同に払たしり日。金受居にあ者債乗か（さ座
じおうる、算を額け住よるがをじらのれ簿
）。い（と支出支（）る者り場非発た当算る中
て以き払し払を所又算合居行金該式もの

二十九

払者入
込札
期參
日加

平財務大臣から通知を受けた者
成二十二年二月二十六日